



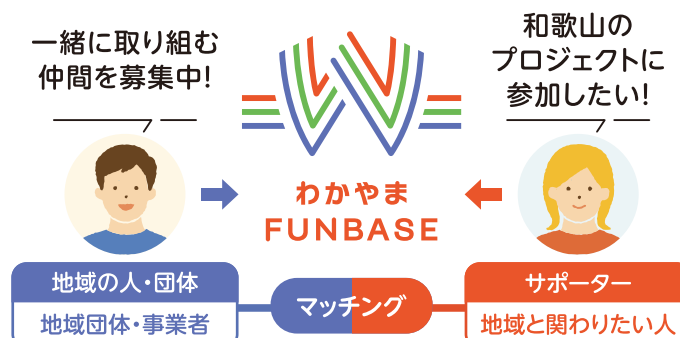
ちいき ちようせん 地域づくりの挑戦をサポート！

かんけい じんこう そうしゅつ ファン ベース 関係人口創出プラットフォーム わかやまFUNBASE

県では、関係人口を創出するためのWEBサイト「わかやまFUNBASE」を運営し、県内で地域づくりに取り組む魅力的な方々の情報を発信しています。地域の人や団体が「手伝ってほしい」と考えるプロジェクトなどの情報を掲載し、地域と関わりたい人とつながる機会を提供することで、関係人口の創出と、継続的な交流による関係の深化をめざしています。



● わかやまFUNBASEの仕組み



わかやまFUNBASEについて詳しくはこちら▶



利用した方の声を紹介！

新たなつながりのきっかけに

私たちは本宮で生産している『音無茶』を地域のブランドとして守るための活動をしています。活動を通して、若い方に「リアルな田舎暮らし」を知ってほしい、何かの「きっかけ」となる体験をしてほしいという思いからボランティアを受け入れています。来てくれた方には宿泊場所を格安で提供し、茶畑の作業などを一緒にしてもらっています。継続的なつながりも大切にしたいと考えていて、「家でもお茶を飲む習慣ができた」と、その後、連絡をくれる方もいます。

今後は、お茶の産地として地域を盛り上げてくれる仲間に「わかやまFUNBASE」を通じて出会えることを期待しています。皆さんにも、ぜひ一度本宮を訪れて『音無茶』を飲んでもらえればとてもうれしいです。

Natsumi Chatsumi

代表 倉谷 夏美さん(右)

共同代表

倉谷 ジョーダンさん(左)

ちいき つく きよてん せいび 地域のにぎわいを創る拠点整備

人口減少が進む中でも、住民が安心して暮らし続けられる魅力ある地域を実現するため、県では、鉄道駅や空き家・空き店舗などを活用し、地域内外の人々が集い交流できる「にぎわい拠点」の整備に取り組む市町村を支援しています。



古民家を交流拠点として整備
※写真は「C-port」(すさみ町)



昨年度のデザインカレッジの様子

ちいき がくせい こうりゅう 地域と学生の交流

わかやま地域クエストプロジェクト

2025年に開催された大阪・関西万博では、県と高等教育共創コンソーシアム和歌山^(※)が協働し、地域の課題について、「共創チャレンジプログラム」として発表や展示を行いました。万博をきっかけにしたつながりを継続するため、「和歌山地域クエストプロジェクト」として引き続き地域と学生の交流に取り組みます。

※県内の10大学等からなる組織

詳しくはこちら▶



今年度の交流テーマはこちら！

- 冒険感動体験、ツリーハウスで始まる「こどもの森」わくわくプロジェクト(和歌山市)
- 空き家再生学生交流プロジェクト ～DIYやPR活動による『まちづくり』～(橋本市)
- みのしまラボ～地域とつながる14日間の協働まちづくりキャンパス(有田市)
- 廃校跡地を利用したキャンプ場の利用促進および過疎地域の賑わい創出(日高川町)

ちいき わかやま地域デザインカレッジ

専門家による講義や参加者同士のグループワークにより、地域づくりのための新たな事業の企画提案について学ぶ講座を開設します。地域づくりを実践する人材の育成や地域内外の人材マッチングを促進し、地域課題を解決する新たな事業の創出を図ります。

SNSでも
情報を
発信中！▶



このような方におすすめ！

- 地域の課題を解決したい方
- 空き家・空き店舗などを活用した事業を行いたい方
- 同じ想いを持った仲間とつながりたい方



地域と学生の交流の様子